

令和2年度 常葉大学第5回FD・SD研修会（全学共通研修会）報告

日時	令和2年度 11月18日（水） 15:10～16:30	
場所	常葉大学静岡草薙キャンパス A201 教室 静岡瀬名キャンパス 大会議室 静岡水落キャンパス 第3会議室 浜松キャンパス 412 教室	
講演内容	「令和3年度におけるシラバス作成について」	河上 泰英 教務部次長
	「教学マネジメントの推進について」	
	—DP達成に向けた授業科目の体系性・有機的連携の確保—	中澤 寛元 副教務部長
	「第2ワーキンググループの検討課題」	出口 憲 副教務部長
	「第3ワーキンググループの検討課題」	佐藤 友紀 副教務部長
出席者数	常葉大学静岡草薙キャンパス	165 人
	静岡瀬名キャンパス	18 人
	静岡水落キャンパス	48 人
	浜松キャンパス	108 人
	合計	339 人（短期大学部の教職員含む）

令和2年度第5回FD・SD研修会（全学共通研修会）を開催した。初めに、河上泰英教務部次長から「令和3年度におけるシラバス作成について」の研修を行った。

まず、「教育の質に係る客観的指標」の概要に触れ、シラバスに求められることに関して次の5項目「準備学修の具体的な内容及びそれに必要な時間」、「課題に対するフィードバックの方法」、「授業における学修の到達目標及び方法・基準」、「卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連」、「当該授業科目の教育課程内の位置づけや水準を表す数字や記号（シラバスを含む）」について記載例を示しながら説明した。また、来年度スケジュールを示し、教育の質の保証につながるシラバス作成への協力を求めた。

続いて中澤寛元副教務部長から「教学マネジメントの推進について」説明した。これは、2020年1月に示された「教学マネジメント指針」の概要についてである。この指針を踏まえ、本学における教学マネジメントの推進を図るべく、各学部学科・研究科の構成員から成るワーキンググループが設置されたことを説明した。

第1ワーキンググループでは「DP達成のための授業科目の体系性・有機的連携の確保」について、遂行すべき課題についてを提示し、各学部学科・研究科において作業への協力を求めた。

次に「第2ワーキンググループの検討課題」について、出口憲副教務部長から説明があった。WG2より検討課題として、①シラバスの改善、②履修登録他因数の上限設定、③GPAの導入・活用、④柔軟な学事歴の開発、⑤公欠見直し、の5つについて確認を行った。今年度と来年度の検討スケジュールを示した上で、キャンパスも離れており、新型コロナウイルス感染症の影響もあるため、メール会議を中心に意見交換を行うことをお願いした。

最後に、佐藤友紀副教務部長から「第3ワーキンググループの検討課題」として、第3WGの役割の確認、検討課題として、①科目レベルのアセスメントプランの策定、②アセスメントプランの実施・運用状況の調査、③学習成果の評価、があることが説明された。学修成果の評価として、ルーブリック、ポートフォリオ、アセスメントテストなどを使用し多面的に評価する必要がある、今後、本学としての方向性を検討していくため協力の依頼があった。